

豪も核禁条約参加を

超党派議員 政府に求める

性」が必要だとしています。

超党派グループの代表、

労働党ウイルソン下院議員

は「核不拡散・軍縮の法的枠組みへ関与を強めた時に

こそ平和と安全が大きくなる」と語りました。

米国の「核の壁」に入る対し世界の核軍拡競争に歯止めをかける積極的役割を 散条約 (NPT)との整合

オーストラリアで、超党派議員グループが政府に核兵器禁止をよろこびかけました。

核禁条約への署名・批准

を求めていました。条約の発効から22日で2年を機に、政権野党の労働党、野党の自由党、緑の党所属の議員グループは声明を発表し、

自由党、緑の党所属の議員グループは声明を発表し、世界で核の脅威が高まる今こそ条約に参加すべきだと訴えています。英紙ガーディアンのオーストラリア版(22日付)が報じました。

版(22日付)が報じました。 昨年5月の総選挙で政権交代を果たした労働党のアルバニーシー政権は、同6月に開催された核兵器禁止条約第一回締約国会議にオブザーバー参加しました。

声明は、核保有国による挑発や脅しが高まっていると懸念を表明。「大量破壊兵器の廃絶を前に進めるには、それを禁止する条約が不可欠」だと歴史が証明していると強調し、豪政府に参加には「効果的な検証制

→関連⑤面